

福島の子供200人 サマーキャンプ

福島第1原発事故による放射線の影響で、屋外で遊ぶことが困難な小中学生200人が北海道で夏休みを過ごす「ふくしまキッズ夏季林間学校」が7月25日から渡島管内七飯町などで行われる。

最長5週間釣りや陶芸

福島と北海道のNPO法人が中心となって組織した「福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会」の主催。

1週間から5週間までの5コースがあり、最初の2週間までは七飯町のホテルに宿泊し、大沼ふるさとの森自然学校で行う。午前は大学生ボランティアによる学習、午後は選択制で釣りやスポーツ、陶芸などに取り組む。3週間以上のコースでは、残る期間に十勝管内大樹町など道内各地を回る予定。

6日に実行委のホームページで受け付けを開始したところ、30分で定員が埋まった。

実行委によると、参加者から原則1人3万円を集めるが、総額2500万円が必要で、企業から協賛金を募っている。会場で食事を提供するボランティアも募集している。問い合わせは、NPO法人大沼・駒ヶ岳ふるさとづくりセンター内の実行委事務局 ☎0138・67・3777へ。